

平成 17 年 12 月 26 日

各 位

会社名 古河スカイ株式会社  
代表者名 代表取締役社長 加藤 仁  
(コード番号：5741 東証一部)  
問合せ先 取締役 宇多田 元  
(TEL：03-5611-2300)

#### インドネシア現地法人の能力増強に関するお知らせ

当社は、アセアンおよび豪州地域において、今後も旺盛な需要が期待される自動車熱交換器用アルミニウム押出材に対応するため、インドネシア現地法人であるフルカワ・インダール・アルミナム社 (PT. Furukawa Indal Aluminum、本社：インドネシアジャワ島グレシク、社長：佐々木愛明、資本金：400 万 US ドル) の能力増強を行います。

同現地法人は、当社のアルミニウム押出事業の世界展開の一拠点として、1998 年 3 月に設立、1999 年 9 月より操業しており、これまで設備増強を行いながら需要の伸びに対応してきました。同地域の今後の需要予測によりますと、さらなる設備増強が必要であるとの判断から、このたび合弁パートナーであるインダール・インベスティンド社 (PT. Indal Investindo) 殿および豊田通商株式会社殿と協議の結果、2,750 トン押出機 1 基および付帯設備の増設を行い、2006 年 7 月に稼動を予定しています。投資額は約 600 万 US ドルです。

また、今回あわせて事業規模の拡大に対応するため、2006 年 1 月に 200 万 US ドルの増資を行うこととしました。ただし今回の増資による株主の出資比率に変更はありません。

#### <増設・増資後のフルカワ・インダール・アルミナム社の概要>

社 名：フルカワ・インダール・アルミナム社 (PT. Furukawa Indal Aluminum)  
設 立：1998 年 3 月  
所 在 地：インドネシアジャワ島グレシク (スラバヤ市郊外)  
資 本 金：600 万 US ドル  
出資比率：古河スカイ 55%、インダール・インベスティンド社 40%、豊田通商 5%  
事業内容：自動車熱交換器用型材を主体とするアルミニウム押出材の製造販売  
生産能力：月約 450 トン  
主要設備：アルミニウム熱間押出機 3 機、仕上などの付帯設備一式

#### <業績に与える影響について>

すでに公表している業績見通しに対する影響はありません。

以 上